

【解答】

【問1】 水不足の村に来たコヨーテは、どんなことをしましたか？（十点）

答え 「**かめの中の水を飲んだ**」または「**水をぬすんだ**」という意味の**答えなら正解**。

【問2】 人間に追いかけられたコヨーテは、どんなことをしましたか？（十点）

答え 「**大きな木にのぼった**」 「**ほえながら木にのぼった**」などで**正解**。

（コヨーテはなぜ木に登るしかなかったのか？ を、お子さんに考えさせてみましょう。）

【問3】 この歌には「いただく」という言葉が3回登場します。

それぞれの「いただく」の意味で正しいものを次のアイウエオから選び（ ）に入れなさい。（各十点）

ア・食べる イ・手をのばす ウ・手に入れる エ・頭にのせる オ・してもらう

答え 1番の**いただく**の意味（ウ） 2番の**いただく**の意味（エ） 3番の**いただく**の意味（ア）

（1番の「いただく」は水に対してなので、アの「食べる」ではなく、この場合は

ウ・手に入れる（自分のものにする）が正解。2番の「いただく」は、とても高い幹が

雲に届きそうな様子を表しているので、**エ・頭にのせる**が正解。3番の「いただく」は

おかずなので **ア・食べる** が正解。

このように意味の違う同音語を、他の言葉についてもお子さんと話し合ってみましょう。）

【問4】 1番と2番の歌詞どちらにも「二歩と半分」という言葉が出てきます。

少なさを表しているのはどちらの「二歩と半分」ですか？（十点）

答え **（1）** 番の歌詞の「二歩と半分」

（前後の文章によって、その言葉が持つ意味もまるで変わるのだということをお子さんに理解させましょう。1番は滅びそうな村の命、2番は大木の幅。）

【問5】 3番の歌詞には湖が出てきます。湖があるのに、どうして村は水不足だったのでしょうか？（二十点）

答え 「**村と湖のあいだに谷があって渡れないので、湖に行けなかった**」または「**谷があるので**

湖の存在を知らなかった」という**意味の答えなら正解**。答えに「谷」が出ていない場合は若干減点。

（村と湖はどのくらい離れていたのか？ 谷ほどの程度の深さだったのか？

など、親子でこの物語の情景をイメージしてみましょう。）

【問6】 2番の歌詞の「この世で始めの道が鳴る」とは、どついついことを表していると思いますか？

思い付くまま自由に書きましょう。（二十点）

答え **（これはお父さんお母さん方も一緒に考えてみましょう。）**

（この世で始めの道↓ スタート地点？ 原始の道？ 太古の世界？・・・

道が鳴る↓ 道が開ける？ 目の前に現れる？ 光景が広がる？・・・

などと、言葉の連鎖で自由に発想をふくらませていきましょう。

決まった正解はありません。お子さんの発想によって点数を決めてください。）